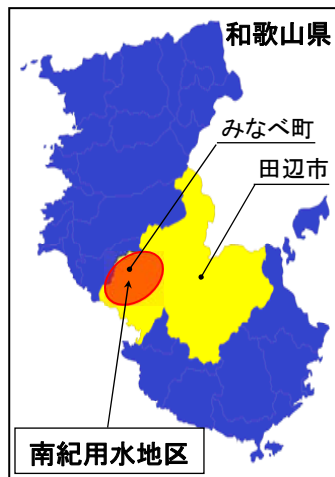


# 事務所トピックス 国営施設応急対策事業「南紀用水地区」完了

## 【はじめに】

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営南紀用土地改良事業(昭和48年度～平成7年度)により造成されましたが、東本庄揚水機場においては、ポンプの故障等による送水停止が発生し、農業用水の安定供給に支障を来たすとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要していること、また、辺川頭首工においては固定堰の摩耗等、水管理施設においては電気通信設備の故障等による性能低下が生じていたことから、平成28年度から施設の機能を保全するための整備を行うことにより、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を目的とした国営施設応急対策事業を進めてきました。

今年度が、事業最終年度であり、発注している工事が計画的に順次完成していることから、これまで実施した施設の改修状況等について報告します。



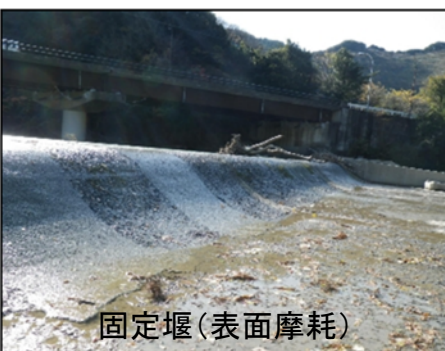
## 【事業実施前の状況】

東本庄揚水機場は、平成23年度台風12号の出水により浸水被害が発生。以降、突発的な停止等の不測の事態が発生。

水管理施設は、耐用年数を超過しており、一部の機能喪失など不具合が発生。



辺川頭首工は、固定堰の摩耗による機能低下や護床ブロック流出による機能喪失、土砂吐ゲート操作盤等の経年劣化。



## 【工事計画】

ひがしほんじょう 東本庄揚水機場	1号機場	ポンプ設備(揚水量3m <sup>3</sup> /min、φ200mm×1台)改修、電気設備の更新
	2号機場	電気設備の更新
	機場上屋	浸水対策、屋根塗装、外壁塗装
辺川頭首工	固定堰(堤高1.3m、堤長55.8m)、護床ブロック、土砂吐ゲートの改修、土砂吐ゲート開閉装置の更新	
水管理施設	TM親局(中央管理所)、4系統のTM子孫局の更新	

## ○東本庄揚水機場

平成29年度より、揚水機場の工事に着手、2号揚水機場の電気設備の更新、建屋の改修(浸水対策)を実施し、平成30年度に1号揚水機場のポンプ設備の改修、電気設備の更新を実施し完了。

## ○辺川頭首工

平成30年度より左岸側の護床ブロックの撤去・再設置、土砂吐ゲート本体の塗装・油圧シリンダー等の整備及び機側操作盤の更新工事に着手。平成31年度(令和元年度)は右岸側の固定堰の改修、土砂吐ゲート油圧ユニットの更新を実施し完了。

## ○水管理施設

平成30年度より水管理施設(TM親局、3系統のTM子孫局)の更新工事に着手。平成31年度(令和元年度)は残り1系統のTM子孫局の更新を実施し完了。

## 【工事実施状況】

### ○東本庄揚水機場

工事完成時の状況を代表的な写真で紹介します。

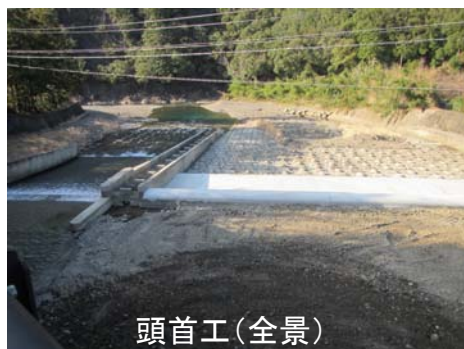


### ○辺川頭首工

平成30年度の工事完成時の状況を代表的な写真で紹介します。



平成31年度(令和元年度)の工事完成時の状況を代表的な写真で紹介します。



## ○水管理施設

工事完成時の状況を代表的な写真で紹介します。



### 【期待される効果】

これらの施設を改修することにより、年間12億円相当の作物生産が維持され、食料の安定供給に貢献するとともに、施設の維持管理費の軽減や効率的なかん水・防除作業の維持が図られます。また、地域経済への波及効果の維持も見込まれます。



### 【閉所式等の開催】

令和元年11月7日、南紀用水支所の看板降納のあと、田辺市のガーデンホテルハナヨにおいて、閉所式が開催され、松浦和歌山県農林水産政策局長、松川南紀用水土地改良区理事長をはじめとする関係者総勢53名により執り行われました。

式典では、本事業の完了へのお礼と二期事業の早期着工への期待の祝辞が寄せられました。

今回の看板降納及び閉所式を終え、当事務所・支所職員一同は、関係機関及び地元の期待に応えるため、一丸となって円滑な工事と地区調査への取組の決意を新たにしました。



南紀用水支所玄関前での看板降納

### 【最後に】

平成28年度から予定の4年の工期で事業の完了を迎えることができました。事業関係者のみなさまのご理解とご協力により完成することが出来ましたことに感謝申し上げます。

本年度(令和元年度)をもって応急的な対策は完了しますが、今回事業の対象としなかった施設の改修、平成23年伊半島大水害に伴う流域内の土砂崩壊等に起因したダム貯水池の堆砂除去など、本地区の課題解決のため、本年度から南紀用水二期地区の事業化に向けた地区調査を開始するとともに、ICTモデル実証を昨年度から引き続いて実施しています。これらの事業等により、農業用水の安定供給や労力の軽減が図られ、本地区が今後も全国有数の梅の一大産地として継続発展していくことに寄与していきたいと思っております。